

2018 雪山入門セミナー修了山行・靈仙山

2018年2月24日～25日

<参加メンバー> 11人(男性8人、女性3人 内、受講生5人、スタッフ6人)

<天 候> 2/24 曇り、夕方吹雪 2/25 晴れ

< コースタイム >

2/24 (土)

JR大阪駅7:30発 → 米原駅8:55着 →
(タクシー) 醒ヶ井養鱒場9:42着 → (樽ヶ畑) 汗拭峠11:33 → 五合目見晴台12:25 → 900m台地(BC)13:35

2/25 (日)

4:30起床 → 幕営地6:26出発 → 頂上6:52着 (雪上訓練) → 幕営地9:20(テント撤収) → 10:21下山開始 → 7合目 → 1合目14:00 → (途中、中国料理店にて反省会?) → 柏原駅16:45

< 山行の概要 >

2018年雪山入門セミナーの受講生は一般5名、会員5名であったが修了山行参加者は一般2名、会員3名となった。1日目、天候は曇りで鈴鹿山系も琵琶湖も霞んでいたが積雪はたっぷりで荷物で詰まったザックを担いでの本番、アイゼンワークも順調で転倒などなくペース良くBCまで到着できた。テント設営時には吹雪きだしてエスペースのフライがかぎ裂きになってしまい会長の指示のもと急遽ツェルトで応急処置をした。風がある際のテント設営の難しさを痛感した。

2日目は快晴で気持ちよく山頂まで到着し、滑落停止訓練を行う。受講生の皆さんも大胆に滑落、停止を繰り返される。BCでは雪山登山の三種の神器、ビーコン、ゾンデ棒、スノースコップを使用してのセルフレスキュープログラムを行う。

テント内での生活訓練も整理整頓が苦手だったり眠れなかったりするが、経験と共に慣れていき小屋泊にはない楽しさがあることも伝えることができたであろうか。



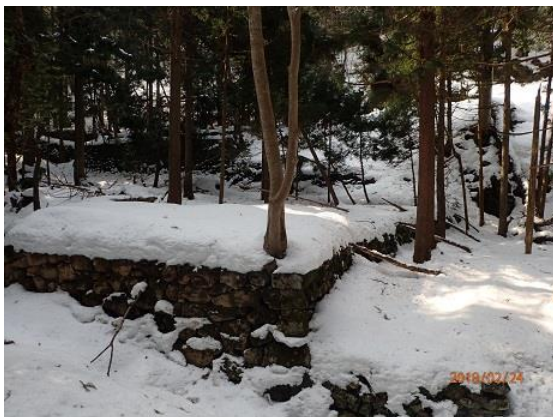
1.醒ヶ井養鱒場標識



2.登山口



3.自然の木のアーチをくぐる



4. 廃村となった樽ヶ畑集落の名残、石垣を組んだ宅地跡



5.樽ヶ畑の小屋前の小橋を渡る



6.汗拭峠



7.汗を拭き拭き



8.五合目見晴台、琵琶湖はかすかに



9.ここから急登



10.結構なトラバース



11.気持ちのいい雪原に出た



12.七合目お猿岩



13.BC目指す



14.お虎が池・鳥居が顔を出している



15.幕営地決定、圧雪・整地その1



16.圧雪その2、みんなでラインダンス



17.雪のブロックを切り出し



18.防風ブロックを積み上げていく



19.吹雪中でテント設営、そして、スノーマウント・簡易雪洞作り



20.穴掘りまかしとけ



21.そして、雪のトイレも完成



22.雪洞完成



23.夕食の前に宴が始まる



24.カレー完成



25.まだまだ宴は終わらない



26.二日目出発準備



27.霊仙山頂目指します



28.一人 50 歩ずつのラッセル



29.樹林の中を進む



30.やったー山頂



31.やったね受講生



32.朝日をバックに集合



33.滑落停止訓練・労山方式



34.滑落開始



35.前転からの停止、迫力！



36.弱層テストその1



37.弱層テストその2



38.ビーコンとゾンデ棒で救出訓練



39.右足側について、左足側について・・・



40.テント撤収



41.下山開始



42.避難小屋通過



43.伊吹山を目の前に下る



44.木の芽が膨らみ春はもうすぐ



45.四合目疲労感漂う



46.二合目二本杉通過



47.沢沿いの細い道はスリル満点



48.無事下山、柏原駅へ向かう



49.おまけ・帰りの車中にて
リーダーお疲れ様